

／ はじめよう！ ／

す い ふ く れ ん け い

水福連携

水福連携とは、水産業と福祉が連携し、障害のある人をはじめとする多様な人たちが水産業分野で活躍することを通じて、水産業の発展とともに、自信や生きがいをもって社会参画することを実現する取組です。



水産業(水産事業者)の 現状と課題

- 就業者の減少
- 慢性的な担い手不足
- 高齢化の進展
- 地道な作業を行うことが多い など



作業をお願いしたい！



福祉(障害者就労施設)の 現状と課題

- 利用者の就労・生産活動の機会が欲しい
- 利用者の賃金・工賃を向上したい
- 利用者の社会との繋がりを確保したい など



利用者に
仕事を見つけない！



マッチング



水福連携のポイント

- ✓ 直接雇用に加え、水産事業者と障害者就労施設が契約し、作業を委託する方法もある
- ✓ その場合、「施設内就労」と「施設外就労」の2パターンあり
- ✓ 作業工程の一部を切り出し、人手が必要な軽作業などをお願いする

施設内就労の場合

施設内で作業を実施し、天候に左右されずに、障害者のペースに合わせて柔軟に作業を行うことができる

(作業事例)

- ・ カキ養殖の採苗器作成、ロープの釘抜き、より入れ
- ・ 漁具の解体
- ・ 海藻の異物除去
- ・ シール貼り、袋詰め、箱の組立 など



カキ天然採苗用コレクター製作作業の様子

施設外就労の場合

漁業現場で作業を行うため、仕事の幅が広がり、多岐にわたる作業ができる

(作業事例)

- ・ ワカメの芯抜き
- ・ ホタルイカの目玉取り
- ・ 加工物の袋留め
- ・ カキの付着物洗浄
- ・ 工場内での清掃 など



ワカメの芯抜き作業の様子

水福連携（施設との連携）を始めたいと思ったら

水産事業者の方

- 地方自治体の福祉部局や農林水産部局に相談する
- 共同受注窓口※を利用する
- 近隣の障害者就労施設へ訪問する



障害者就労施設の方

- 地方自治体の福祉部局や農林水産部局に相談する
- 共同受注窓口※を利用する
- 近隣の漁業協同組合や道府県の普及指導室に相談する



※ 共同受注窓口とは、企業等が発注したい物品や役務の内容を、受注が可能な障害者就労施設にあっせん・仲介する窓口

マッチングの流れ

01 相談・相手方候補選定

地方自治体の担当窓口や共同受注窓口などに相談
近隣でマッチング可能か検討

02 試行・体験

実際の作業を体験
問題なく実施できるか確認

03 正式契約

正式に水産事業者と障害者就労施設で契約を行い、作業を開始

水福連携の推進

🔍 検索

取組事例・マニュアル・支援事業・
都道府県の水福連携担当窓口など
詳しくは水産庁ウェブページを確認！
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/suihuku.html>

